

心を歴れみ ふ花は あ 史ささ ひとつ あ れは IJ ン あ に や か人でド のウ わ な たせ、 によせて なまずせて 和わ 路雪山雪 咲₫ が明まき が る薫が ああ る () () 八幡平市 笑礼

顔が

あ四いな 季きのがと (1) のちれ輝り息い 恵を育る。 したを \mathcal{O} な 夢ぬ で まる 満年 本語 本語 が 川 まぶ だる く う あ が 大き あ 地 も こ 八階で 八はて る n 幡丸 平に 市し

詞 曲 林 保岡 芳 直 輝 樹

あああるをいるというでは、おおおけることに理想をおいる。 飛は伸の 翔た び る P 望りて に る 想きマ 力 のド 7 燃も躍や虹に IJ える 進が街 のあが耀かた る あ < る 空きま 、幡平 しく 市